

●街頭演説例

6月27日

県委員会

「ご近所のみなさん、日本共産党です。しばらくお邪魔します。」

河井克行前法務大臣と妻の案里参院議員が公職選挙法違反容疑で逮捕されました。昨年7月の参议院選挙で、地方議員ら94人に総額2570万円もの現金を手渡し、票の取りまとめを依頼した疑いです。きわめて大規模な買収事件です。法務大臣経験者が買収で逮捕されたのは前代未聞であり、民主主義の根幹である選挙の公平を力ネの力でゆがめた責任は重大です。日本共産党は、両氏が直ちに議員を辞職するよう求めます。

マスコミの報道で河井克行、案里容疑者から現金を受け取ったとされる政治家40人の名前が明らかにされました。安芸太田町長に就いて三原市長が現金の受領を認めて辞職しました。疑惑が報じられた地方議員も現金の受け取りを次々と認めています。広島県にとって、選挙の公正という民主主義の土台を揺るがす大事件であり、お金を受け取った議員の責任も重大です。日本共産党は二度とこのような事件を起こさないよう事件の全容解明を求めます。

私たちが重視しているのは、今回の大規模な買収事件に、安倍首相が深く関わっている疑惑が強まっていることです。

党本部から河井夫妻に1億5000万円の資金が渡りました。落選した自民党のもう一人の候補者・溝手氏の実に10倍、過去に余り例がない巨額の資金です。これほどの額は、党総裁である安倍首相の意向なしにはできないと指摘されています。しんぶん赤旗と中国新聞の調査で、安倍首相の側近だった克行氏が昨年、安倍首相にたびたび面会し、その前後に、5回に分けて1億5000万円が振り込まれています。しかも、そのうち1億2000万円は国民の税金である政党助成金と言われています。

安倍首相が、通常の10倍もの資金を河井夫妻に提供し、国民の税金であるその資金が、大規模な買収に使われたという疑惑です。

現金30万円を渡されたと認めた繁政（しげまさ）秀子府中町議は「安倍さんから」と言われて断れなかったと証言しています。克行容疑者は「安倍さんから」と言ってお金を渡していました。

公職選挙法221条は、買収行為をさせる目的で金銭などを交付した者も罪に問われるとしています。一億5000万円の交付の目的は何だったのか、自民党や安倍首相の説明責任が問われています。

野党は国会で「河井事件野党解明チーム」をつくり、安倍首相に公開質問状を送送。両容疑者に提供した1億5000万円のうち1億2000万円は政党助成金だとの報道は事実か、両容疑者の政党支部への入金年月日と入金額について回答を求めています。野党共闘で真相の解明をめざしています。

みなさん。日本共産党は、汚いお金とは縁のない清潔な党です。政治をゆがめる企業・団体献金も国民の税金を政党が山分けする政党助成金も受け取っていません。政治資金は党員の党費、しんぶん赤旗の発行による事業費、国民のみなさんからの募金によっています。だからこそ、国民が主人公をつらぬけるのです。

日本共産党が発行している「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。新型コロナウイルス問題では、正確な情報をお届けし、専門家による国民の立場に立った対策を掲載しています。

「しんぶん赤旗」は、毎日お読みいただける日刊紙と週一回発行の日曜版があります。この機会に「しんぶん赤旗」の「購読をお願いして、この場の訴えとします。ご清聴ありがとうございます。」がありました。